

平成30年度(第2回)認定
免許状更新講習一覧(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」

認定番号順

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号
開智国際大学	【選択】アクティブ・ラーニング型の外国語授業におけるICT機器の活用法	本講習ではアクティブ・ラーニング型の外国語の授業におけるICT機器の活用法を検討します。ICT機器の活用例を紹介し、それらを受講者の先生方に試していただくとともに、受講者の先生方からもICT機器の活用に関する提案をしていただきます。これらの事例に関する議論を行うことで、ICT機器の活用の可能性を探っていきます。本講習は英語教育に止まらず、他の外国語教育にも汎用できる内容となっています。	ブルース・フラナガン(教育学部講師)	東京都中央区	6時間	平成31年8月9日	教諭	英語に限らず外国語教育に携わる教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501694号
開智国際大学	【選択】初等科体育課程におけるネット対陣型ボール運動「ミニテニス」の導入について	現在初等科体育課程においては、卓球やバドミントン、テニス等の基礎となるラケット系スポーツ種目は含まれておらず、中学校からそれらの種目に触れることとなる。ラケットスポーツは巧緻性要素が高いため、導入段階としての基盤づくりが必要と考える。そこで、初等科体育課程におけるネット対陣型ボール運動「ミニテニス」の教材化を提案したい。なお、主として6学年を対象としているが、後半は中学・高校へ導入可能なプログラムも加える。	高橋 早苗(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月8日	教諭	小学校教諭(中・高教諭も可)	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501695号
開智国際大学	【選択】教科横断・探究型教育に向けて	教科横断・探究型教育の可能性を受講者と一緒に探っていきたいと思います。例えば、サンテグジュベリの作品『星の王子さま』を教材としてみましょう。背景にはフランス・アメリカなど複数の文化が介在しています。また『キツネ』も登場しますが、では日本の文学作品ではどうでしょうか。さまざまな側面を発展させながら異文化理解についての議論を深めていければと考えます。	佐々木 さよ(教育学部教授) 原田 操(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月9日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501696号
開智国際大学	【選択】東アジアの歴史対立と教育実践－日韓問題を中心に－	現在、東アジアにおける歴史認識を巡る対立は厳しいものがある。和解をキーワードに、教育実践はこの問題(はどの)のように追っていくのか。日韓歴史認識問題を中心に、いま求められている視点や方法を考え、そのうえで教育実践として取り組む方法を受講者と共に考えたい。	坂井 俊樹(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月7日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501697号
開智国際大学	【選択】特別の教育的ニーズの理解と支援	教育現場で出会う「気になる子ども」に対する理解と配慮、及び指導・支援の在り方について考えます。新学習指導要領の内容を踏まえた子どもの発達と指導・支援、及び特別の教育的ニーズの理解と指導・支援について、受講者と意見交換しながら具体的な方策について検討します。子どもの学習上及び生活上の困難を中心に据えて、教員に求められる指導・支援の在り方を模索します。	寺本 妙子(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月8日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501698号
開智国際大学	【選択】理科授業の改善とスキル・アップ～新学習指導要領の具現化を目指して～	新学習指導要領でねらいとする授業改善のために、アクティブ・ラーニング「主体的・対話的で深い学び」の理科教育における具現化、問題解決型の学び、理科の見方・考え方について、講義だけではなく、観察・実験の活動やグループワーク、グループディスカッションを交えて講習を行い、指導者としてのスキルアップを図る。	千葉 秀一(教育学部講師)	東京都中央区	6時間	平成31年8月9日	教諭	小学校・中学校(理科)教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501699号
開智国際大学	【選択】誰にでもできる音楽づくり・創作の授業	音楽づくり・創作を中心とした実践において、音楽の授業をどのように構成していけばよいのかを体験的に学びます。学習指導要領にある(共通事項)の位置付けをはじめ、表現と鑑賞の一体化、音楽科における創造性やコミュニケーション能力の育成などの今日的な課題について、受講者全員と共有しながら、学んでいきたいと思います。	坪能 由紀子(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月7日	教諭	小学校教諭(担任)・小学校・中学校・高等学校の音楽専科	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501700号
開智国際大学	【選択】子どもの哲学(哲学対話)を取り入れた学級経営と授業づくり	近年、日本国内では、1970年代にアメリカで開発された「子どもの哲学(Philosophy for Children: P4C)」の方法論に基づく「哲学対話」の授業実践が、全国の小中高校に少しずつ広がっています。この講習では、開智日本橋学園 中学・高等学校および開智中学、高等学校の道德の時間に実践されている「哲学対話」の授業の方法を体験的に学習することを通して、受講者が自らの学級経営や授業づくりの中で哲学対話の手法を取り入れられるようになることを目指します。	土屋 陽介(教育学部非常勤講師)	東京都中央区	6時間	平成31年8月9日	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501701号
開智国際大学	【選択】問題解決による算数の授業	新指導要領の内容について、算数の学習過程を児童自身が問題解決の過程とし、算数の学習内容を拡張的かつ発展的に作り上げていく授業の構成を身につけます。受講者は各自1時間分の指導案を対応する部分の教科書のコピーとともに参加者人数分準備します。問題解決に基づく算数指導の講義の後に、グループに分かれ各自準備した指導案についての討議・検討を行い発表します。また、講師はそれらについてコメントいたします。	島田 和昭(教育学部教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月8日	教諭	小学校教諭	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501702号
開智国際大学	【選択】「なぜ古典を教えるのか」～研究と教育の狭間に～	古典の授業は古典文法の指導に時間が費やされ、作品を読む所まで辿りつくことが難しい感があります。作品を読むには、近古代から今日までの注釈を見て内容を分析し理解する必要があります。当講座では、日本・中国古典文学(紀真・陶淵明)の研究に携わる教員が、具体的な作品の古注釈等を紹介しつつ「古典を読む」真のおもしろさについて論じます。その上で皆様と一緒に「なぜ古典を教えるのか」について考えたいと思います。	服部 一枝(教育学部教授) 三枝 秀子(教育学部准教授)	東京都中央区	6時間	平成31年8月8日	教諭	中学校・高等学校国語科教諭(小学校も可)	6,000円	20	平成31年3月16日～平成31年5月31日	平31-30134-501703号